

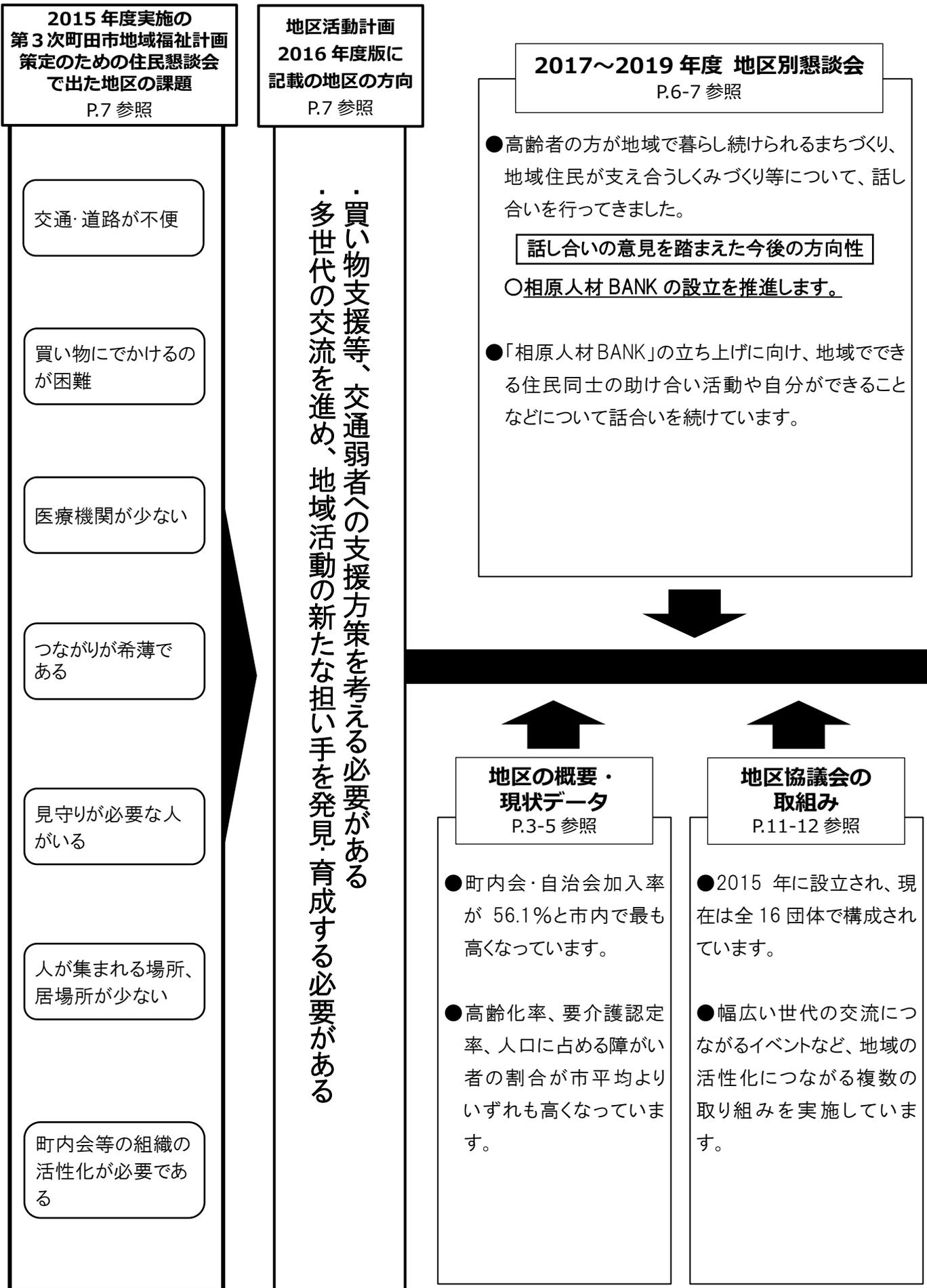
# 相原地区 基礎資料



## 2022年度 町田市地区別懇談会

基礎資料につきましては、開催日当日に使用する資料ではありません。  
ご参加いただく皆様に事前にお目通しいただけるよう、地区の概況を  
まとめた資料となっております。

# 1. 過去5年間の取組み等を踏まえた地区のまとめ



**2020年度  
地区別アンケート**  
P.8-9 参照

- 「相原人材BANK」に協力できる人は半数以上となっており、協力できること、お願いしたいことで共通して高い項目は、外出・移動の支援や行政文書の記入支援等があげられています。

**アンケート結果を踏まえた  
今後の方向性**

- ①相原地区社会福祉協議会を設置します。

**5年間を通して  
生まれた取組み**  
P.10 参照

- 相原人材 BANK の運営を行う相原地区社会福祉協議会ができ、相原人材 BANK の本格始動に向けて進んでいます。

**タウンミーティング  
の結果** P.18 参照

**住みたい(なりたい)  
まちの姿について**

- 「地域や人のつながり」や「子ども・子育てへの支援・声かけ」といった意見が多くなっています。

**過去5年間の取組み等を踏まえ  
見えてきたこと**

①「相原人材BANK」を運営する相原地区社会福祉協議会の設置、体制整備

- ・ 5年間を通して、高齢者の方が地域で暮らし続けられるまちづくり、地域住民が支え合うしくみづくりを検討してきました。
- ・ 町内会・自治会加入率が 58.0%と市内で最も高くなっており、地区社協の組織化に大きなアドバンテージがあります。
- ・ 市民アンケート調査では、住民同士の協力関係をつくるために必要なことで「自分の特技などを活かして地域貢献すること」が全体に比べて高くなっています。

- 今後も、相原地区社会福祉協議会の取組を推進していく必要が有ります。

②「相原人材BANK」でお手伝いが可能な担い手の募集や支援メニューの明確化、利用ニーズの把握、及びそれらに関わる情報提供

- ・ 地区別アンケートから、「相原人材BANK」に協力できる人は半数以上となっており、協力できること、お願いしたいことで多いのは、外出・移動の支援や行政文書の記入支援等があげられています。
- ・ 地区内には大学が2校あり、若い世代の協力も期待できます。
- ・ 市民アンケートでは、住民同士の協力関係が必要と考える人の割合は市全体より高くなっており、そのために必要なこととして、「地域の情報を手軽に得られること」が多くなっています。

- 以上から、お手伝いが可能な担い手の募集や支援メニューの明確化、利用ニーズの把握、及びそれらに関わる情報提供が求められています。

**市民アンケート調査**  
P.13-17 参照

- 住まいの形態は「持ち家(一戸建て)」が8割を超えていることもあり、隣近所などとのつきあいについての満足度が高く、地域で安心して暮らしていくために重要なことでも、「隣近所などのおつきあい」をあげる人が多くなっています。
- 住民同士の協力関係が必要と考える人の割合は市全体より高くなっています。そのために必要なこととして、半数近くの方が「地域の情報を手軽に得られること」を挙げています。福祉に関わる相談窓口・機関等の認知度がいくつかの項目で低いこととの関連がうかがえます。
- また、住民同士の協力関係をつくるために必要なことでは「自分の特技などを活かして地域貢献すること」が全体に比べて高くなっています。

## 2. 地区の概要・現状データ

＜相原地区の該当町名＞

相原町

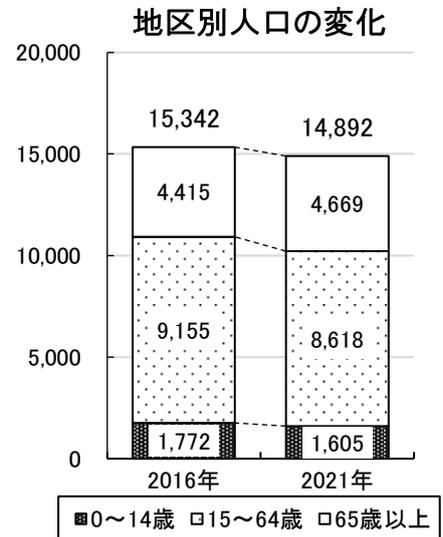
### (1) 5年間の地区の変化と市全体との比較

＜5年間の地区の変化＞

- 65歳以上、75歳以上人口（後期高齢者）の増加  
（P.4「人口」参照）
- 世帯数の増加（P.4「世帯数」参照）
- 町内会・自治会加入世帯数の減少  
（P.4「町内会・自治会加入世帯数」参照）

＜町田市全体との比較＞

- 市全体より要介護認定率が高い  
（P.4「要介護認定者数」参照）
- 町内会・自治会連合会加盟団体への世帯加入率は相原地区が10ポイント以上高い  
（P.4「町内会・自治会」参照）



### (2) 相原地区の概要

＜人口＞（2021年10月1日現在）

- 14,892人  
（14歳以下の割合：10.8%、65歳以上の割合：31.4%）

＜特徴＞

- 大半が緑地として保存されている自然豊かな地域である。
- 町内会・自治会加入率が56.1%と市内で最も高くなっている。
- 65歳以上の人口の割合、要介護認定率、人口に占める障がい者の割合が市平均よりいずれも高い。

＜主な資源＞

- ・ 駅：1 駅（相原駅）
- ・ 高齢者支援センター：1 か所
- ・ 地域子育て相談センター：1 か所
- ・ 高校・大学：大学2校
- ・ あんしん相談室：1 か所
- ・ 子どもセンター：1 か所

### (3) 相原地区の現状データ

		相原地区		町田市全体	
		2016年度	2021年度	2016年度	2021年度
人口	地区内総人口	15,342人	14,892人	428,203人	430,607人
	0～14歳	1,772人 (11.5%)	1,605人 (10.8%)	55,977人 (13.1%)	51,516人 (12.0%)
	15～64歳	9,155人 (59.7%)	8,618人 (57.9%)	261,697人 (61.1%)	262,247人 (60.9%)
	65歳以上	<u>4,415人</u> (28.8%)	<u>4,669人</u> (31.4%)	110,528人 (25.8%)	116,844人 (27.1%)
	75歳以上(再掲)	<u>2,050人</u> (13.4%)	<u>2,461人</u> (16.5%)	53,117人 (12.4%)	63,573人 (14.8%)
世帯	世帯数	<u>6,848世帯</u>	<u>7,056世帯</u>	192,005世帯	202,737世帯
	世帯あたり人口	2.24人	2.11人	2.23人	2.12人
要介護認定者数	要支援1	123人	179人	2,773人	4,170人
	要支援2	66人	101人	2,057人	2,500人
	要介護1	166人	213人	4,327人	5,435人
	要介護2	186人	133人	3,398人	3,411人
	要介護3	144人	157人	2,394人	2,734人
	要介護4	123人	127人	2,224人	2,841人
	要介護5	106人	91人	2,057人	2,131人
	合計	914人	1,001人	19,230人	23,222人
参考:要介護認定率 ※1		20.7%	<u>21.4%</u>	17.4%	<u>19.9%</u>
認知症高齢者数 ※2		522人	309人 ※5	10,040人	7,286人 ※5
障がい者数 ※3	身体障がい	527人	484人	11,808人	11,544人
	知的障がい	96人	104人	3,117人	3,253人
	精神障がい	145人	205人	3,698人	5,378人
	合計	768人	793人	18,623人	20,175人
	人口に占める割合	5.0%	5.3%	4.3%	4.7%
町内会 自治会 ※4	団体数	11	11	226 (309)	220 (310)
	加入世帯数	<u>4,290世帯</u>	<u>3,956世帯</u>	89,566世帯 (103,595世帯)	83,872世帯 (98,255世帯)
	加入率	62.8%	<u>56.1%</u>	47.0% (54.3%)	<u>41.6%</u> (48.8%)

○人口、世帯数：各年10月1日現在（住民基本台帳に基づく）（総人口には年齢不詳1人を含む。）

○要介護認定者数、認知症高齢者数：各年10月1日現在

○障がい者数：2016年は10月17日現在／2021年の身体・知的は10月1日現在、精神は2月7日現在（実績値）

○町内会・自治会：4月1日現在

◆備考◆

※1 要介護認定率は参考数値（要介護者数に64歳以下も含むため）

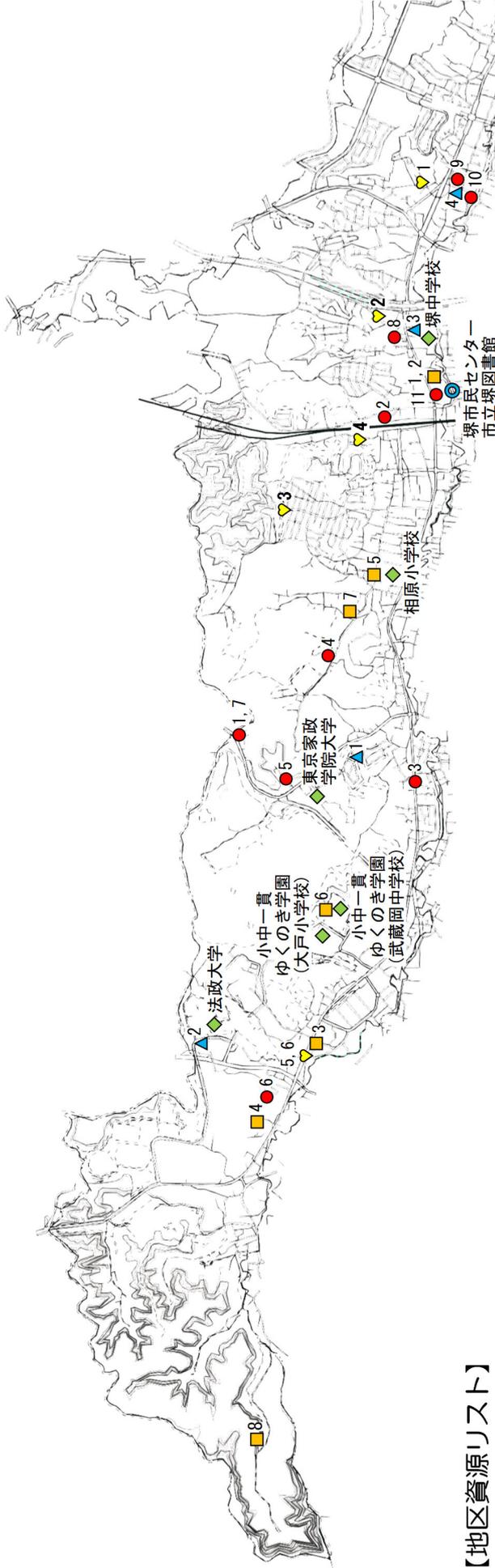
※2 要支援1～要介護5を持つ方のうち、日常生活自立度Ⅱ以上の方

※3 障害者手帳の所持数

※4 町田市町内会・自治会連合会に加盟している団体数（ ）内は非連合を含めた値

※5 2021年の認知症高齢者数は、新型コロナウイルス感染症の特例で、介護度をそのまま1年延長している方は主治医意見書が提出されていないことと、認定調査を実施していないため、前年よりも認定者数が少ない数値となっています。

### 3. 地区資源マップ



#### 【地区資源リスト】

- 子ども・子育て関係の施設(■)
- <地域子育て相談センター>
  - 1 堺地域子育て相談センター
- <保育園>
  - 2 市立こうさぎ保育園
  - 3 クローバー保育園
- <幼稚園>
  - 4 相原幼稚園
- <学童保育クラブ>
  - 5 相原だけの子ども学童保育クラブ
  - 6 大戸のびっ子学童保育クラブ
- <子どもセンター・子どもクラブ>
  - 7 子どもセンターぱお
  - <その他>
  - 8 大地沢青少年センター

#### ●高齢者・介護保険関係の施設(●)

- <相談>
  - 1 堺第1高齢者支援センター
  - 2 相原あんしん相談室

#### <認知症グループホーム>

- 3 愛の家グループホーム町田相原
- <特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)>
  - 4 杏林荘
  - 5 椿
  - 6 ヴィラ町田

#### <介護老人保健施設>

- 7 サンシルバー町田
- <有料老人ホーム(特定施設)>
  - 8 介護付有料老人ホームみんなの家・町田相原
- <有料老人ホーム(住宅型)>
  - 9 住宅型有料老人ホームさかい
  - 10 太陽の家 相原住宅
- <高齢者福祉センター(ふれあい館)>
  - 11 ふれあいけやき館

#### ●障がい者・福祉関係の施設(▲)

- <生活介護(通所)、就労移行・継続支援>
  - 1 町田ゆめ工房

#### <就労移行・継続支援>

- 2 エッグドーム・スローワールド
- 3 かがやき町田夢工場
- <共同生活援助(グループホーム)>
  - 4 シンセイ相原

#### ●ふれあいサロン・子育てサロン(♥)

- <ふれあいサロン>
  - 1 わ・和・輪の会・境
  - 2 ふれあいサロン元橋
  - 3 ふれあいサロンみどり
  - 4 陽田の会
  - 5 ほっとカフェ
  - 6 ふれあいサロンだーるまさん

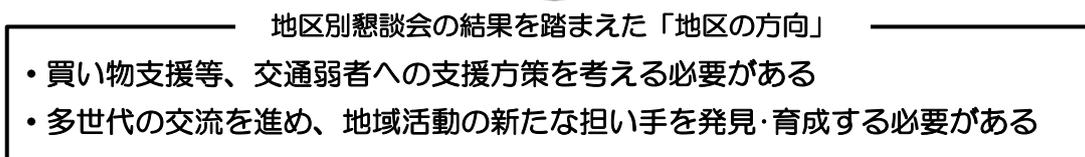
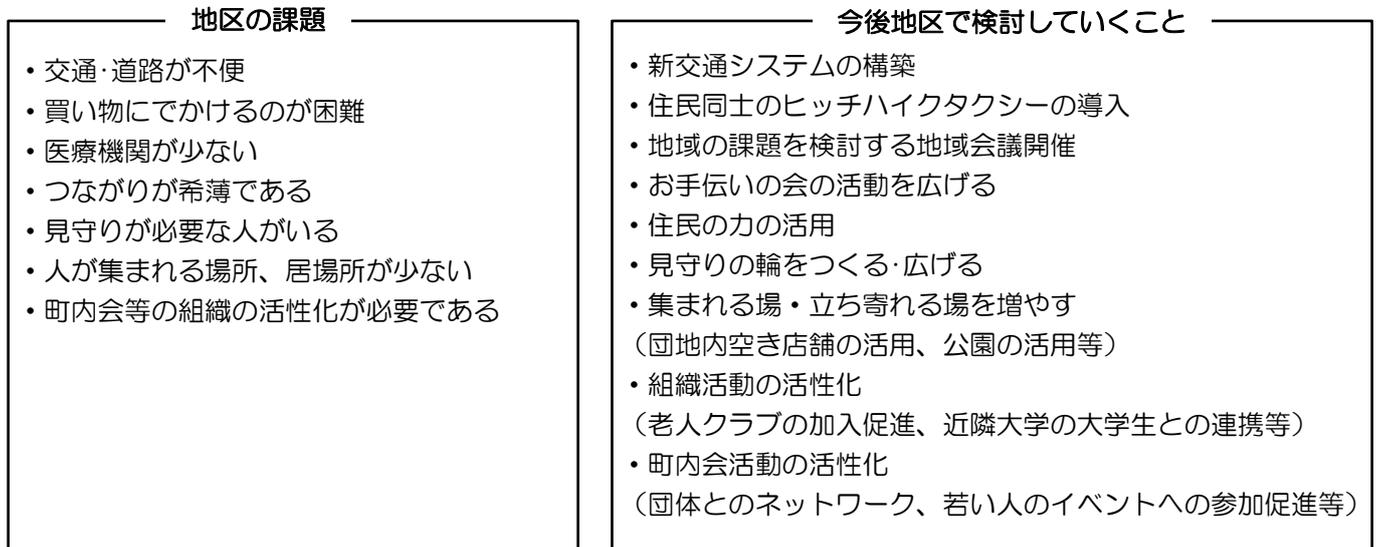
#### 【資源マップ上記載の凡例】

- 教育施設(◆)
- その他の公共施設(○)

## 4. 地区別懇談会の経過

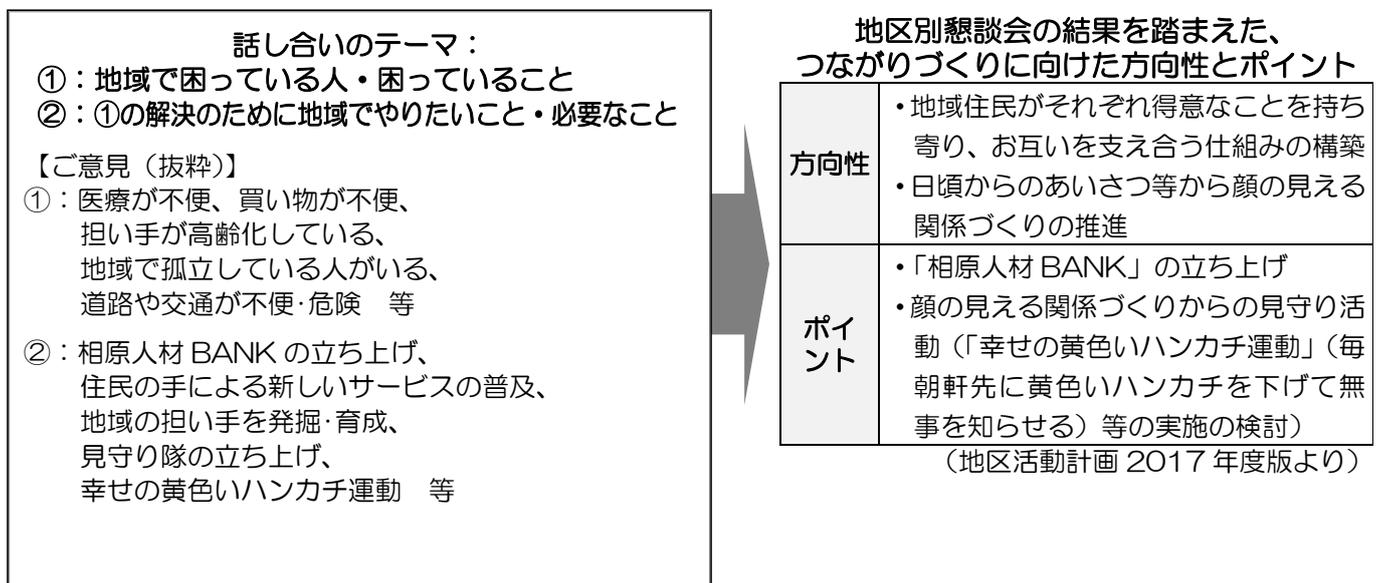
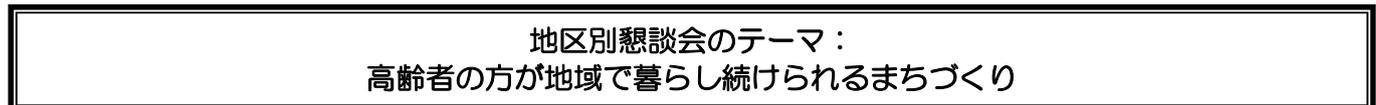
### (1) 相原地区 地区別懇談会

#### ① 第3次町田市地域福祉計画策定のための住民懇談会（2016年1月）



※ 2017年度以降、第3次町田市地域福祉計画、町田市社会福祉協議会の第四次地域福祉活動計画に基づいて、市内10地区で地区別懇談会を開催しています。

#### ② 2017年度 地区別懇談会



③ 2018年度 地区別懇談会

地区別懇談会のテーマ：  
 高齢者の方が地域で暮らし続けられるまちづくり  
 ～地域住民が得意なことを持ち寄り、支え合うしくみづくり～  
 （相原人材 BANK の設立に向けて）

話し合いのテーマ：  
 地域でできる住民同士の助け合い活動

- 【ご意見（抜粋）】
- ・家事等日頃の生活に関する支援
  - ・家のことに関する支援
  - ・子どもに関する支援
  - ・高齢者に関する支援
  - ・コミュニケーション・趣味活動の支援
  - ・外出・移動支援
  - ・その他専門的な支援
  - ・地域・地域活動の支援

地区別懇談会の結果を踏まえた、  
 今後の方向性と具体的取組み

方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相原人材 BANK の立ち上げ</li> <li>・相原人材 BANK でのネットワークづくり</li> </ul>
具体的取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相原人材 BANK の立ち上げに向けて、運営団体や方法、拠点等の詳細について検討する</li> <li>・地区別懇談会を通じて相原人材 BANK の周知を行う</li> </ul>

（地区活動計画 2018 年度版より）

2018 年度の地区別懇談会は、助け合いについて理解を深めていただくために、はじめにカードを使ったゲームを行いました。



④ 2019年度 地区別懇談会

地区別懇談会のテーマ：  
 地域住民が支え合うしくみづくり  
 ～相原人材 BANK の設立に向けて～

話し合いのテーマ：  
 地域住民が支え合うしくみづくり  
 ～相原人材 BANK の設立に向けて自分ができること～

- 【ご意見（抜粋）】
- ・家事支援：  
 そうじ、買い物・おつかい、ゴミ捨て、料理、草とり・庭掃除、その他家のこと 等
  - ・趣味・スポーツ・健康づくり活動：  
 【趣味】洋裁・手芸、園芸・野菜づくり 等  
 【スポーツ】卓球、水泳、走り方教室 等  
 【健康づくり活動】ウォーキング、ラジオ体操 等
  - ・育児支援、子ども・子育て支援：  
 子どもと一緒に遊ぶ、子育て支援、学習支援、見守り、子ども食堂（誰でも食堂）、相談 等
  - ・外出・移動支援  
 【つきそい】買い物、通院、外出、散歩 等  
 買い物代行、車・ドライバー 等
  - ・その他の専門的な支援  
 人材 BANK、外国人支援（語学）、防災対策、パソコンの使い方支援、医療を利用する人への支援、困りごとを抱えた人への支援 等

地区別懇談会の結果を踏まえた、  
 今後の方向性と具体的取組み

方向性	・相原人材 BANK の設立を推進します。
具体的取組み	・相原人材 BANK の設立に向けて、町内会や地域活動団体等と検討を行います。

（地区活動計画 2019 年度版より）

2019 年度の地区別懇談会は、相原人材 BANK の紹介と支え合いの事例紹介を通じて、「事例を通して自分ができること」について話し合いが行われました。

⑤ 2020年度 相原地区 相原人材BANKについてのアンケート

2020年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため10地区すべてで地区別懇談会の開催を中止し、地区ごとにアンケート調査を実施しました。  
 当アンケート調査では、これまでの地区別懇談会で話し合いを行ってきた「相原人材BANK」について、協力意向や人材BANKにお願いしたいこと等を聞いています。

【回答者の基本属性】

図表 回答者の年齢

	40件回答
1 10代	0人
2 20代	0人
3 30代	1人
4 40代	5人
5 50代	3人
6 60代	11人
7 70代	14人
8 80歳以上	2人
無回答	4人

図表 回答者の所属団体（複数回答）

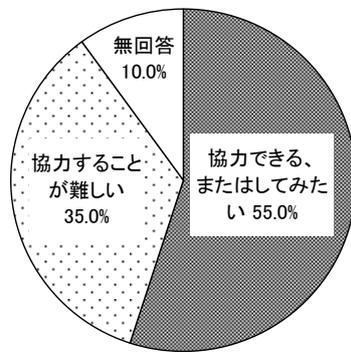
	40件回答
1 町内会・自治会	18人
2 民生委員・児童委員	4人
3 青少年健全育成地区委員会	5人
4 NPO法人	5人
5 ボランティア団体	6人
6 ふれあいサロン・子育てサロン	8人
7 小・中学校	2人
8 小・中学校 PTA	2人
9 老人クラブ	6人
10 障がい当事者会・家族会	1人
11 社会福祉法人	0人
12 保育園・幼稚園	4人
13 高校・大学	0人
14 地区協議会	7人
15 自主グループ	5人
16 その他	4人
無回答	5人

【相原人材BANKについて】

●「相原人材BANK」への協力意向

「協力できる、またはしてみたい人」が半数以上となっています。

図表 「相原人材BANK」への協力意向

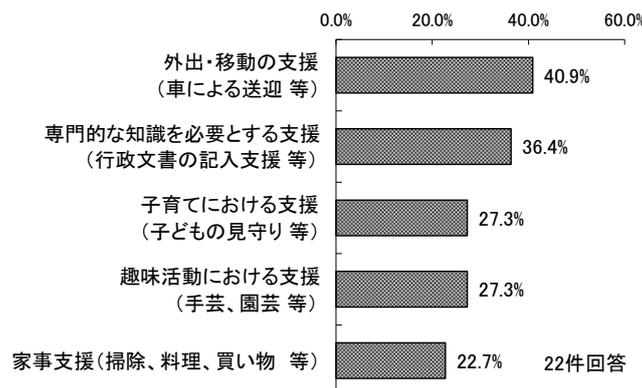


40件回答

●具体的に協力できること

「外出・移動の支援」が4割で最も多くなっています。

図表 具体的に協力できること（上位5位）（複数回答）

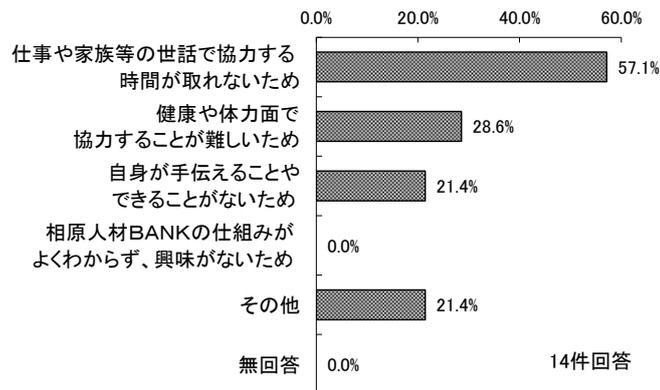


22件回答

## ●協力することが難しい理由

「仕事や家族等の世話で協力する時間が取れないため」が5割後半で最も多くなっています。

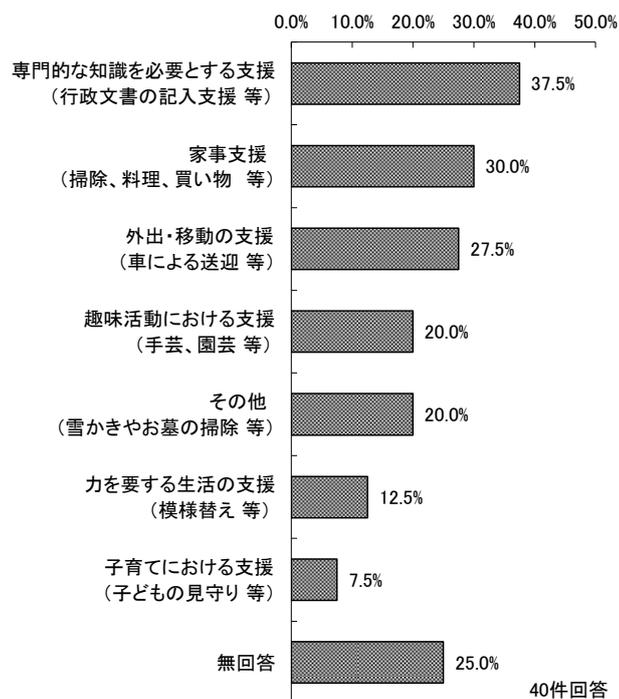
図表 協力することが難しい理由



## ●「相原人材BANK」にお願いしたいこと

「仕事や家族等の世話で協力する時間が取れないため」が5割後半で最も多くなっています。

図表 「相原人材BANK」にお願いしたいこと  
(複数回答)



## アンケート結果を踏まえた今後の方向性・具体的取組み

方向性	・相原地区社会福祉協議会を設置します。
具体的取組み	・アンケートで協力できると回答した人向けに研修等を行い、相原人材BANKを展開させていきます。

(地区活動計画 2020 年度版より)

## (2) 5年間を通して生まれた取組み

- 相原地区の地区別懇談会では、地域住民が「できること」「得意なこと」を持ち寄り、支え合う仕組みとして「相原人材 BANK」の立ち上げに向けて話し合いを続けてきました。
- 相原地区では、地域の人たちの手によって生まれた地域の支え合い活動として「元橋ささえあい連絡会」「ナンヘル」があります。
- 「元橋ささえあい連絡会」は、民生委員、老人会会長、サロン代表者などの地域活動の担い手や、高齢者支援センターと話し合いを重ねて立ち上がりました。道幅が狭く急な坂道が多い地域の元橋坂下地区に住む外出が困難な高齢者のために、施設の送迎車を活用して買い物支援を実施しています。
- 「ナンヘル」は、介護予防サポーターが中心になって立ち上げた生活支援団体です。ゴミ出しや花木の水やりなど「ちょこっとお手伝い」として、植木の選定や障子の張替えなどの専門的な作業についてはシルバー人材センターにつなぐなど連携をとりながら相原地区の生活支援活動を行ってきました。現在、活動継続に向けて検討中です。
- 「相原人材 BANK」は、相原地区にお住まいの方たちが、自分の得意なことやできることを「登録」し、住民の方々の困りごとの依頼を受けてお手伝いをする地域住民による支え合いの活動です。「相原人材 BANK」の実施に向け、2020年度に「相原地区社協設立準備委員会」を立ち上げ、地区社協の立ち上げと並行して人材 BANK の検討を重ねました。
- 2021年10月24日に町田市内で4カ所目の地区社協となる相原地区社協が設立されました。2022年5月から「相原人材 BANK」では、生活支援サービスの一環として、買い物や通院などにお困りの方を、協力会員がボランティアとして自家用車で送迎する、移動支援サービスを開始しました。

4. 元橋ささえあい連絡会(市の生活支援団体登録)  
移動支援を機に設立、生活支援の幅を「無理なく」広げたい

1. せめて事故保険(市補助)でも  
→ ささえあい連絡会「活動者」に登録  
2. 先行する生活支援団体の知恵は?  
→ 市の生活支援団体ネットワークで情報交換

▲ 元橋ささえあい連絡会の紹介スライド



▲ 相原地区社会福祉協議会の様子  
(写真は設立準備委員会開催時)

相原地区社会福祉協議会便り Vol. 2  
令和4年4月28日発行  
発行所 相原地区社会福祉協議会  
会長 井上正行

誰でも安心して暮らせる地域づくりをめざす

いよいよ  
移動支援サービスが  
はじまります

地域の暮らしをサポート

Q & A

Q. 相原地区社会福祉協議会は何をするところ?  
A. 相原の地域の課題点を見つけて地域で解決

Q. 今から何をしますの?  
A. 新しい移動支援(送迎、買い物...)サービスを始めます

Q. どうやって?  
A. 支援サービス協力会員の自家用車を使用して移動支援

Q. 協力してくれる会員は見つかるの?  
A. 現在相原にはドライバー研修を受けた協力会員が9名誕生しています

Q. どうすれば利用できるの?  
A. まずは利用会員登録をしていただきます

Q. いつから会員を募集しますか?  
A. もう始まっています(5月1日からスタート)

Q. もっと詳しく教えてください  
A. このチラシの裏面に詳しく説明しています

外出は生活を豊かにする

お問い合わせは  
コーディネーター(担当者)まで  
080-5789-9287

▲ 移動支援サービスチラシ

## 5. 地区協議会の取組み

### (1) 設立日・構成団体

<p>&lt;設立日&gt; ●2015年2月19日（市内4地区目）</p> <p>&lt;構成団体&gt; ●相原地区連合町会（11町内会・自治会）、青少年健全育成相原地区委員会、堺地区民生委員児童委員協議会、社会福祉協議会、堺第1高齢者支援センター、真米の環境を守る会、ガラスフュージング干の花、相原歴史文化研究会、NPO 法人 JAO 会、相原スポーツクラブ委員会、おしゃべりクッキング、へりぼーと、スターキッズ、相原住民福祉協議会、法政大学多摩ボランティアセンター、ノルディックウォーク町田相原（16団体）</p>
---

### (2) 地区協議会のこれまでの主な取組み

事業名	概要	詳細（事業目的など）
広報・広聴事業	・広報紙の発行	地区協議会の活動を広く相原地区の住民に紹介し、関心を持ってもらう。
住民の生きがいづくり事業「ガラスフュージング干の花事業」	・ガラスフュージングの創作教室の実施 ・地域イベントへの参加	高齢者施設や地域サロン、放課後の子ども教室でガラスフュージングのイベントを実施することで、様々な世代の世代間交流、生きがいづくりに寄与する。
住民の生きがいづくり事業「相原地区ファミリースポーツ普及事業」	・スポーツイベントの開催 ・元旦マラソンの開催	幅広い世代がスポーツ体験、外遊びを通して楽しむ機会をつくり、地域住民の生きがいづくりに寄与する。
住民の生きがいづくり事業「おしゃべりクッキング事業」	・昼食会等の開催を通じた高齢者の生きがいづくり	・スターキッズ、特別養護老人ホーム椿などを拠点に、子どもから高齢者までの幅広い世代とで昼食会を開催し、交流する。 ・子どもセンターばおで、子どもたちやそのお母さんとで軽食をつくり、交流する。
住民の生きがいづくり事業「高齢者の居場所づくり事業」	・異世代交流の場づくり	法政大学の学生、地域のボランティアが協力し、交流の場であるカフェを開催し、異世代の交流と高齢者の生きがいづくりを行う。
住民の生きがいづくり事業「安心して暮らせるまちづくり事業」	・地域福祉ボランティアの発掘と育成	認知症カフェの推進：認知症についての学習活動やボランティアの発掘や育成。 外出支援の推進：集会所や公園の活用方法や高齢者の立ち寄りやすい場の検討。交通システムの構築を目指す。
住民の生きがいづくり事業「ノルディックウォークで明るく元気なまちづくり事業」	・ノルディックウォークの定例体験会の開催 ・他団体との共催イベントの開催	ノルディックウォークなどを通じた多年齢交流を促進し、健康で明るく住みやすいまちづくりを推進する。
地域活性化事業「真米の環境整備業」	・真米地区の山林の整備	真米地域を含む鎌倉古道周辺の散策路を整備することで、散策する人々が安全、快適に歩行できる環境を作る。相原の魅力を多くの人に知ってもらうことで、地域の活性化を図る。
地域活性化事業「相原にぎわい創生事業」	・さくらまつりなどのイベント開催による賑わいづくり ・地域活性化につながる調査研究・情報収集	地域の活性化につながるイベント等を企画することで、世代間交流や相原の魅力発信を行う。また、高齢化による交通問題などについて調査研究することで、地域活性化に寄与する。。

事業名	概要	詳細（事業目的など）
大学との連携事業「相原想いの竹カフェ事業」	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 相原想いの竹カフェ（3回程度）</li> </ul>	<p>相原地区にある大学と情報交換や交流を深め、相原地区の魅力を学生と地域住民で共有し、地域住民と学生との協働を図る。</p>
地域活性化事業「相原歴史研究事業」	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 相原の文献調査</li> <li>• まちづくり講演会への参加</li> <li>• 相原歴史調査報告書第3集の発行</li> <li>• 歴史講演会の参加</li> </ul>	<p>相原地域の文化財、由緒ある寺社や歴史遺産、古文書の解読、石像物の文字の解読等の調査を行い、歴史資料の発掘、文書や写真の保存を図ることで、地区の歴史を広く多くの人々に知らしめるとともに、地域への愛着、郷土愛を育む。</p>

## 6. 市民アンケート調査の地区別集計結果

(仮称) 町田市地域ホッとプラン策定の基礎資料とするため、地域福祉に関する生活実態やご意見などを把握することを目的として、アンケート調査を実施しました。

調査対象：18歳以上の町田市内在住者 2,000人

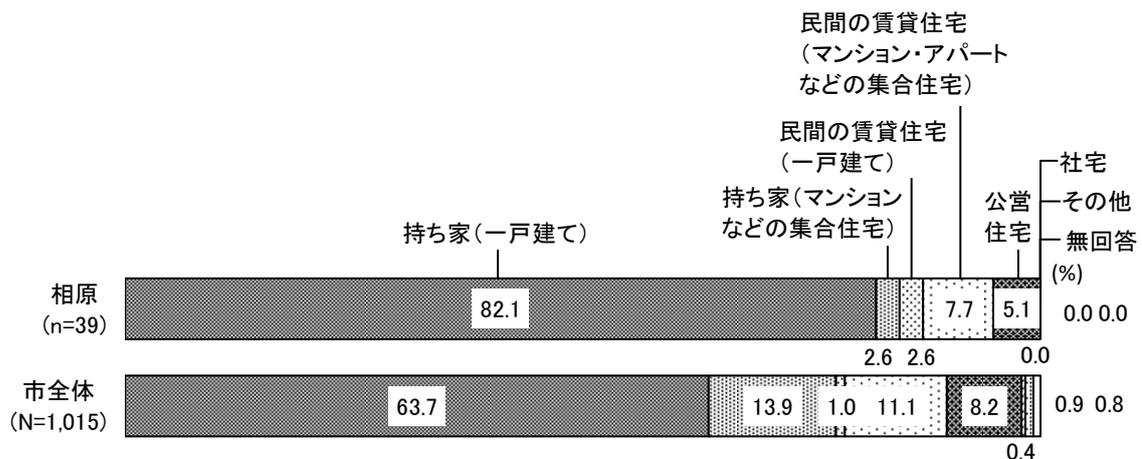
調査時期：2020年2月から3月

### (1) 基本属性

- 年齢は平均61.9歳(全体は58.6歳)、職業は就労していない人が35.9%(全体は43.8%)である。

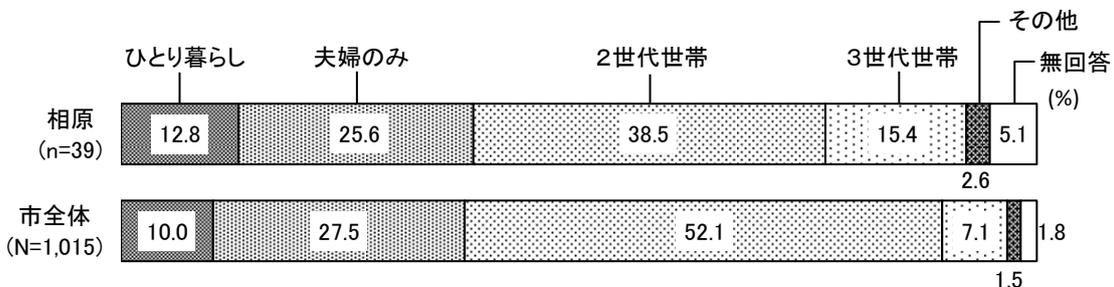
#### ◆住まいの形態

- 住まいの形態は「持ち家(一戸建て)」の割合が82.1%と、全体と比べて18.4ポイント高い。



#### ◆家族構成

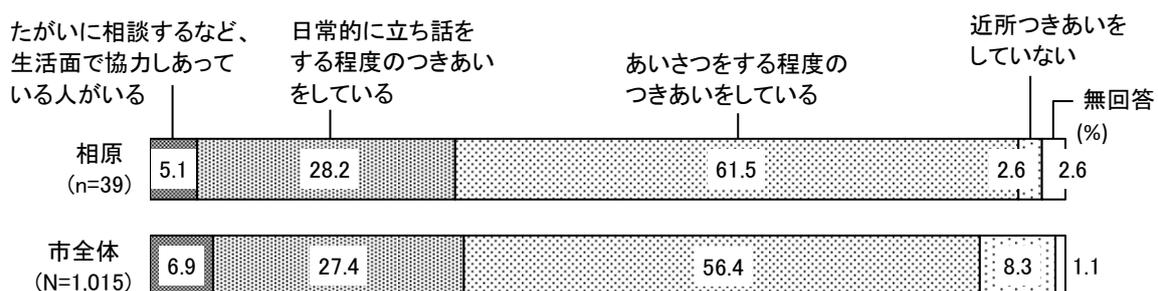
- 家族構成は「ひとり暮らし」、「3世代世帯」の割合が全体と比べて高い。



### (2) 地域での暮らし

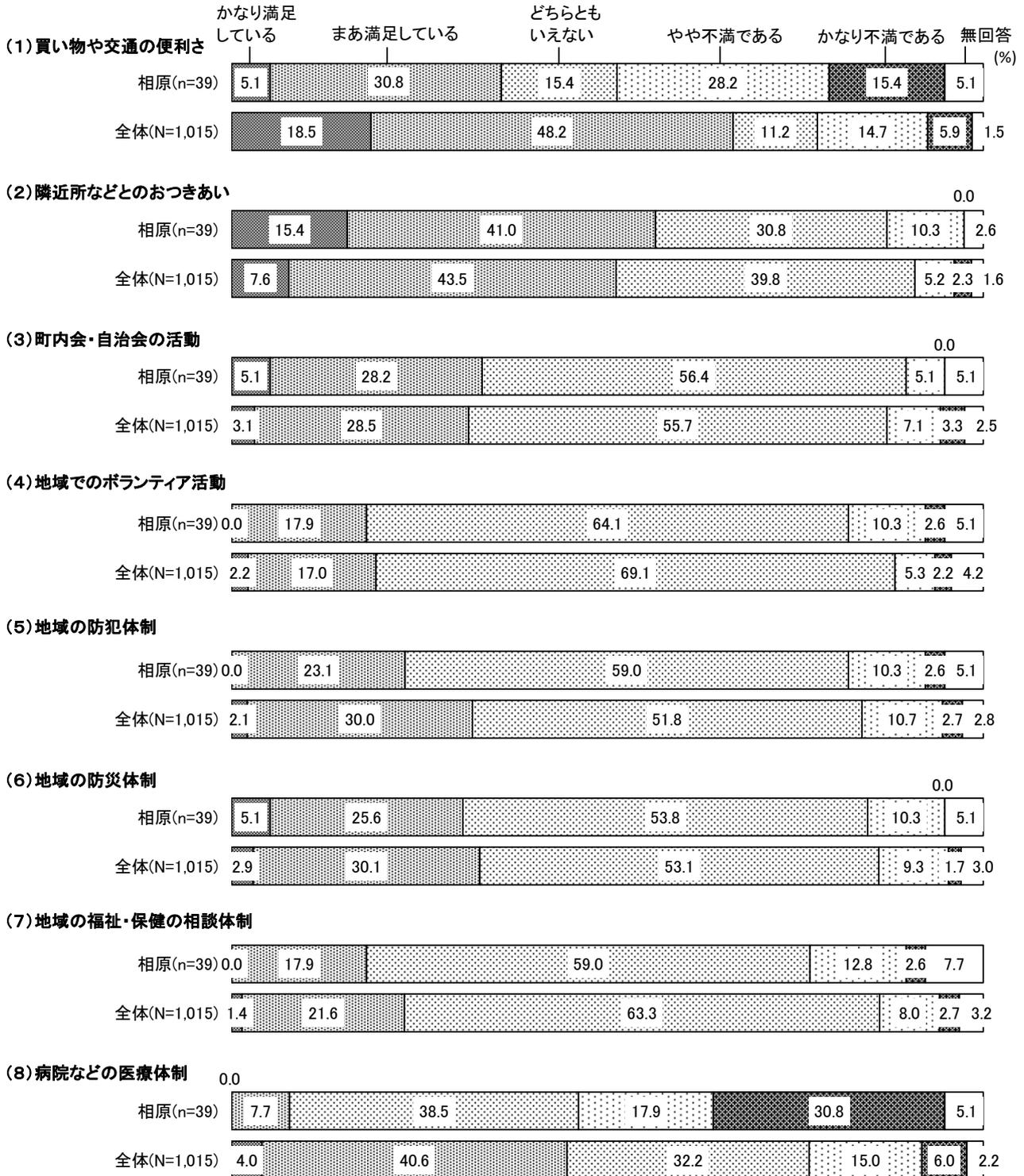
#### ◆近所つきあいの程度

- 「近所つきあいをしていない」の割合が全体と比べて低い。



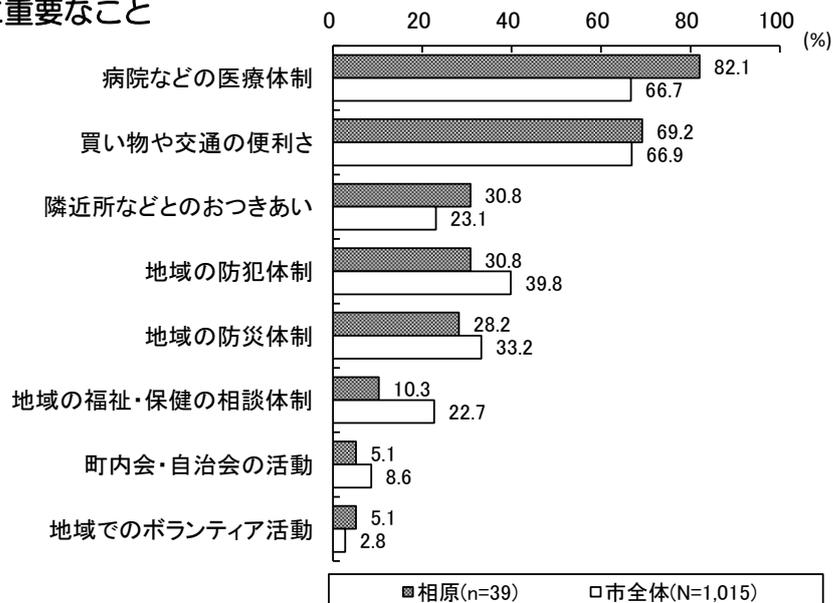
◆地域の暮らしやすさについての満足度

- ・ 地域の暮らしやすさについて、「かなり満足している」と「まあ満足している」を合計した割合（満足度）は、『隣近所などのおつきあい』で満足度が高く、『病院などの医療体制』で満足度が低い。
- ・ 全体との比較では、『隣近所などのおつきあい』が満足度で5ポイント以上高い一方、『買い物や交通の便利さ』、『病院などの医療体制』は30ポイント以上低い。



### ◆地域で安心して暮らしていくために重要なこと

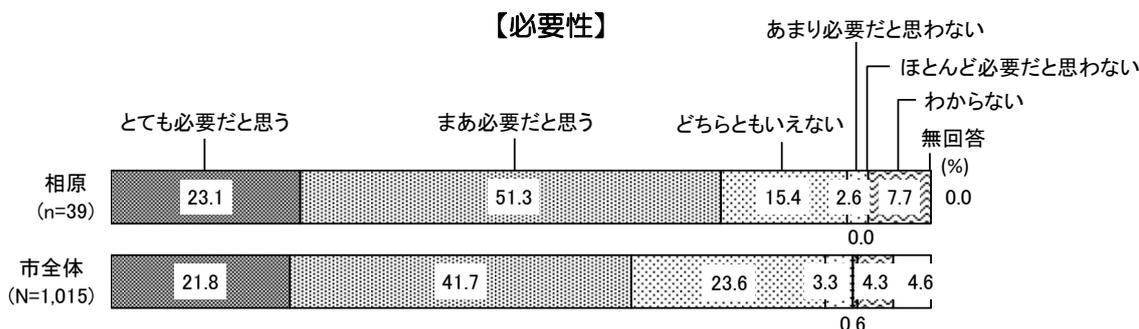
- ・ 地域で安心して暮らしていくために重要なことは、「病院などの医療体制」が最も多く、「買い物や交通の便利さ」、「隣近所などのおつきあい」が続いている。
- ・ 全体との比較では、「病院などの医療体制」が 15.4 ポイント、「隣近所などのおつきあい」が 7.7 ポイント高い一方、「地域の福祉・保健の相談体制」は 12.4 ポイント低い。



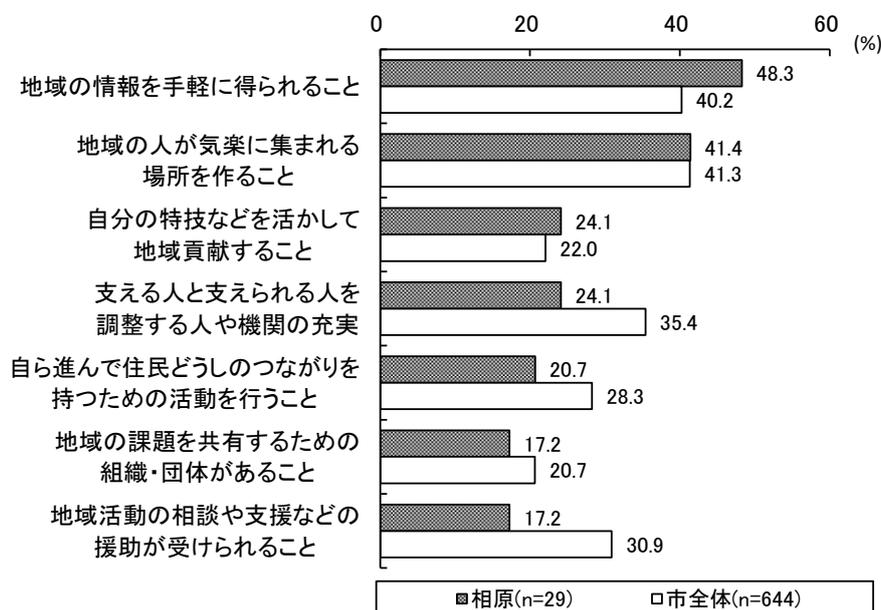
※その他、特になし、無回答はのぞく

### ◆住民同士の自主的な協力関係の必要性、協力関係をつくるために必要なこと

- ・ 住民同士の自主的な協力関係の必要性は、「とても必要だと思う」と「まあ必要だと思う」と回答した人の合計は 74.4% であり、全体を 10.9 ポイント上回っている。必要だと思う人に必要なことをたずねたところ、「地域の情報を手軽に得られること」が最も多く、続いて「地域の人々が気軽に集まれる場所を作ること」などが続いている。そして、全体では 6 位の「自分の特技などを活かして地域貢献すること」が 3 位となっている。



### 【協力関係をつくるために必要なこと】〈必要だと思う人〉

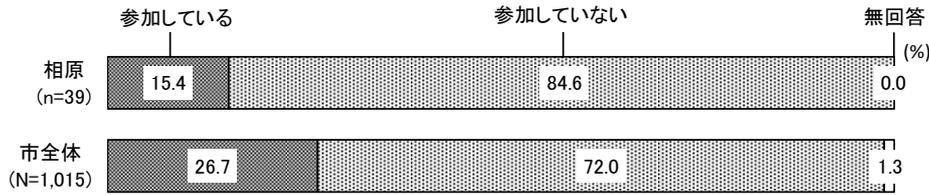


※その他、特になし、無回答はのぞく

### (3) 地域活動・ボランティア活動

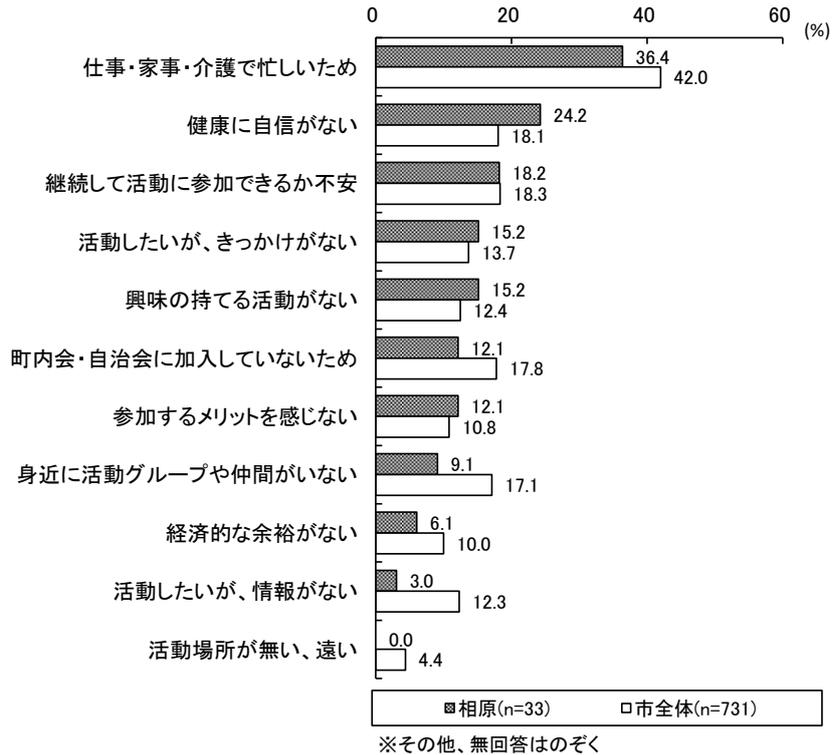
#### ◆地域活動・ボランティア活動への参加状況

- 地域活動・ボランティア活動へ「参加している」の割合が15.4%と全体と比べて10ポイント以上低い。



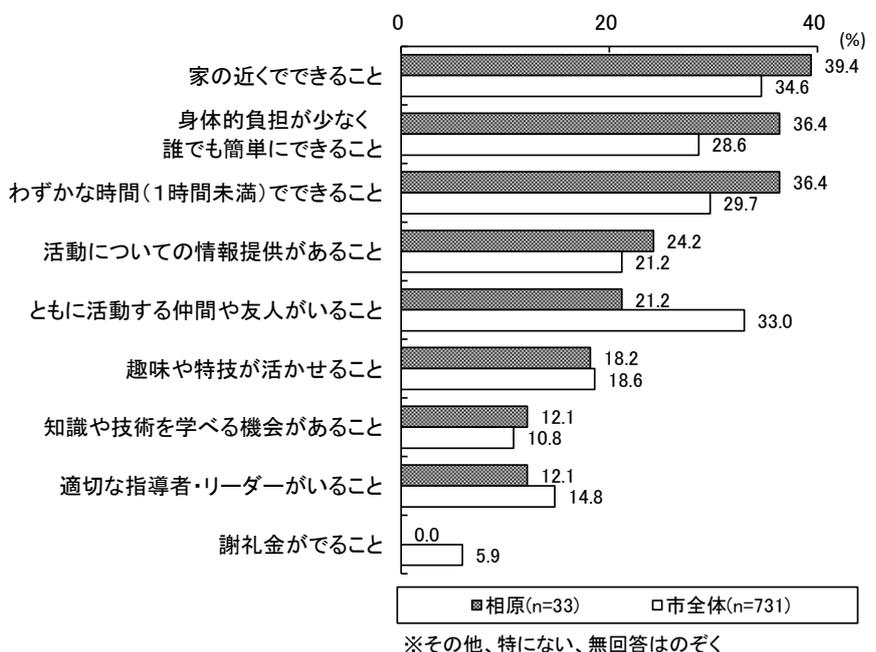
#### ◆地域活動・ボランティア活動に参加していない理由<参加していない人>

- 地域活動・ボランティア活動に参加していない人にその理由をたずねたところ、「仕事・家事・介護で忙しいため」が最も多くなっている。
- 全体との比較では、「健康に自信がない」は全体より5ポイント以上高くなっているが、「仕事・家事・介護で忙しいため」や「町内会・自治会に加入していないため」、「身近に活動グループや仲間がいない」、「活動したいが、情報がない」は5ポイント以上低い。



#### ◆地域活動・ボランティア活動に参加しやすくなる条件<参加していない人>

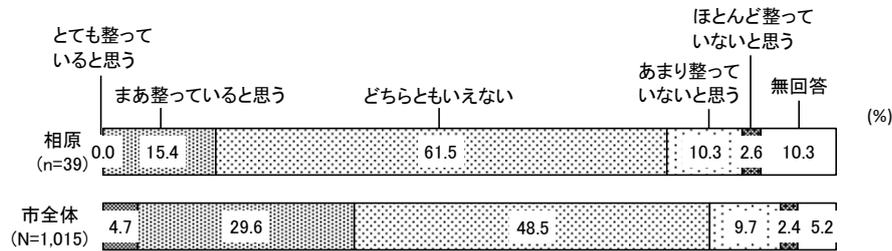
- 地域活動・ボランティア活動に参加していない人に参加しやすくなる条件をたずねたところ、「家の近くでできること」が最も多く、「身体的負担が少なく、誰でも簡単にできること」、「わずかな時間（1時間未満）でできること」が続いている。
- 全体で2位の「ともに活動する仲間や友人がいること」は5位となっており、全体を11.8ポイント下回っている。



## (4) 福祉サービス、福祉施策

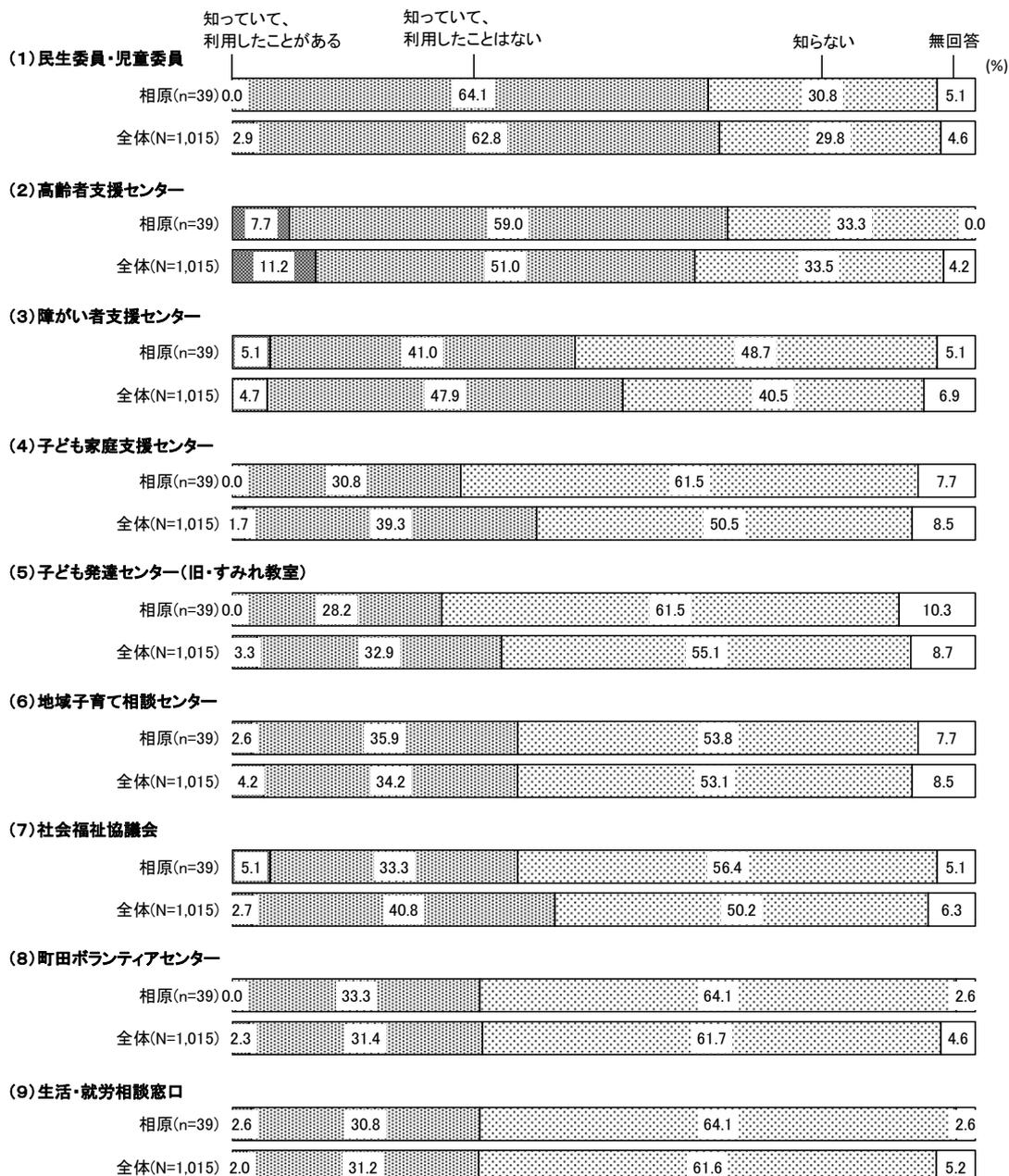
### ◆町田市の福祉サービスの利用環境の整備状況

- 町田市の福祉サービスの利用環境の整備状況は、「とても整っていると思う」と「まあ整っていると思う」を合計した割合が15.4%で、全体に比べて18.9ポイント低くなっている。



### ◆福祉に関わる相談窓口・機関等の認知度・利用状況

- 福祉に関わる相談窓口・機関等の認知度（「知っている、利用したことがある」と「知っている、利用したことがない」の合計）は、『障害者支援センター』、『子ども家庭支援センター』、『子ども発達センター』、『社会福祉協議会』で全体を5ポイント以上下回る。



## 7. タウンミーティング（地区別意見交換会）の結果

### （1）実施目的・参加人数・主な参加者

#### <実施目的>

●2022年4月から始まる新たな市の基本構想・基本計画である「まちだ未来づくりビジョン2040」の策定に向けて、2019年に町内会・自治会や地区協議会を対象の中心として、市内10地区でタウンミーティング（地区別意見交換会）を実施し、それぞれの地域にお住まいの方と一緒に、住んで良かったと思えるような、まちだの未来を考えました。

#### <参加人数（グループ数）>

●18人（4グループ）

#### <主な参加者>

●町内会・自治会、高齢者支援センター職員、スポーツ委員、賑わい創生プロジェクト、相原F C（若者）。

### （2）住みたい（なりたい）まちの姿とご意見

#### ① グループごとの話し合いから出た「住みたい（なりたい）まちの姿」

【Aグループ】3世代で住みやすい働く場やコミュニティがあるまち

【Bグループ】たくさん子どもと元気な高齢者がつながるまち

【Cグループ】人と人がふれあい、自然が豊かな大人になっても戻ってきたいまち

【Dグループ】子どもは楽しい。高齢者は安全。住むなら相原。

#### ② タウンミーティングでいただいたご意見

##### <子ども・子育て支援>

- ・地域に寺子屋。
- ・子ども会へのアシストを充実させると良い。
- ・子を安心して預けられる場所“町会”“会館”勉強+遊び。
- ・子ども同士集まりやすいまち。
- ・子どもに気やすく声をかけられる環境。

##### <交流・つながり>

- ・人のつながり信頼のあるまち←のために、「責任問題」を軽くする必要がある。
- ・学校で地域のつながりの大切さを教える！
- ・3軒隣まで顔の見える付き合い。
- ・地域のつながりが強くて、住民同士で助け合えるまち。

##### <生活環境>

- ・交通の便をもっと良くしないと出ていってしまう人がいる
- ・相原の緑の中を開発→緑の中に研究開発。仕事場、企業を誘致←そういった企業を支える市の支援が必要
- ・近くに親と子が住める環境（500m）←空き家を活用してはどうか。

##### <産業・経済>

- ・若い人が行ったり、働いたりできるお店を。
- ・町田にサテライトの事務所あれば通勤が不要になる！？

##### <地域づくり>

- ・大人になって戻ってきたいまち。
- ・愛着がわかれば一度離れても戻ってくる。

##### <その他>

- ・若い世代に自分の老後を考えてもらう。
- ・広域医療の考えを（都・県を跨いでしまう）。
- ・元気な高齢者が活躍できるように。
- ・スキルを生かす場所を。
- ・買い物と医療施設に安心して行けるように。
- ・自然を生かし+αを！！（温泉とか、食事とか）
- ・公園ごとに特色があってやりたいことができる。
- ・地産地消。地域の資源を活かす。
- ・学力だけではなく、人生を豊かにしてほしい！子どもも忙しくなっている。

（出典：各種ワークショップ等の取組み状況報告より）

URL : [https://www.city.machida.tokyo.jp/shisei/sinokeikau/machida\\_miraizukuri\\_vision2040/kyodokento20201101.html](https://www.city.machida.tokyo.jp/shisei/sinokeikau/machida_miraizukuri_vision2040/kyodokento20201101.html)

## 8. 過去5年間で感じる地域の良い変化（強み）・悪い変化（弱み）

- 2021年度の地区別懇談会の開催にあたり（新型コロナウイルス感染症拡大の影響により2022年度に延期）、参加希望者の方に事前アンケートとして、過去5年間で感じる地域の良い変化（強み）・悪い変化（弱み）をたずねました。
- 以下は、回答いただいたご意見を表現はそのまま、主な意見を抜粋して掲載しています。

分類	地域の良い変化(強み)	地域の悪い変化(弱み)
人(世帯)	<p>&lt;2021年度に回答いただいたご意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新しい世帯(家)が増えた気がする。</li> <li>若い世代が増えてきた。</li> <li>若い世帯の増加で子どもの数が増えてきて良い。</li> <li>住宅が増え、ファミリー層住民が増えた。</li> </ul> <p>&lt;2022年度に回答いただいたご意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>他市からの子育て世代が増えた(戸建)。</li> <li>若い方々の相原地区への転入増加。</li> </ul>	<p>&lt;2021年度に回答いただいたご意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>少子高齢化が一段と加速している。</li> <li>住民の高齢化。</li> <li>無くなる家、空家が目立つ。</li> <li>空家の老朽化で、火災や獣の住処につながる不安。</li> </ul> <p>&lt;2022年度に回答いただいたご意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢化が加速。</li> <li>空き家・店舗の増加。</li> </ul>
つながり、意識	<p>&lt;2021年度に回答いただいたご意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人と人とのつながりが深い。</li> <li>地域住民のつながり。</li> <li>福祉に対する関心が高まってきている。</li> </ul> <p>&lt;2022年度に回答いただいたご意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の絆が強くなってきた。</li> <li>世代、組織間を超えた交流、情報交換が活発化。</li> <li>高齢者と子どもの関わりができて良いことだと思います。</li> </ul>	<p>&lt;2021年度に回答いただいたご意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナのためか、つながりが希薄になっている。</li> <li>コロナ禍で、様々な行事が止まってしまい、他者との関わりが減ってしまっています。</li> </ul> <p>&lt;2022年度に回答いただいたご意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大学生とまちの関わりが少ない。</li> <li>関係人口が減少している。</li> </ul>
活動	<p>&lt;2021年度に回答いただいたご意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>相原のまちを良くしていきたいという人、団体が確実に増えている</li> <li>地区協議会や地区社協ができた。</li> <li>老人会のメンバーが元気に活動している。</li> <li>地域の見守りが増えた。</li> <li>困った時の相談に対応してくれる人が出てきている。</li> <li>新型コロナウイルス感染症の影響による地域事業の継続が多少でき、若い会長が生まれてきている。</li> <li>自主トレ、町トレなどでコミュニケーションが増えた。</li> <li>地元の団体の方が頑張っており、イベント等で相原が少し明るくなった。例:夏の映画会(中央公園)、駅設置のピアノ、竹灯ろう</li> </ul> <p>&lt;2022年度に回答いただいたご意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>まちベジが始まったこと。</li> <li>小さなマルシェが各地で開催されていること。</li> <li>買い物支援サービスの開始。</li> <li>ゆくのき学園の存続地区協議会の発足。</li> <li>市民活動のナレッジシェアが増えている。</li> <li>子ども活動が生まれたこと。</li> <li>相原の中で移動支援の活動が始まったことも、とても良いことだと思います。</li> <li>町田市みんなの電気発電が始まったこと。</li> </ul>	<p>&lt;2021年度に回答いただいたご意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>町会退会の増加、町会加入率の低下</li> <li>高齢者単身者の転出、町内会会員の減少</li> <li>町会役員のみなり手の減少</li> <li>町会自治会離れが進んでおり、災害時が心配</li> <li>2年自粛が町会活動(集会・お祭り)に与える壊滅的ダメージ</li> <li>コロナ禍で自主トレ、町トレなどがなくなり、孤立化が進んでいる。地域力の低下につながっている。</li> <li>ボランティア活動の年齢が高くなり、若い方の参加が少ない。</li> <li>地域活動の担い手不足</li> <li>負担が一部の人に偏っている</li> </ul> <p>&lt;2022年度に回答いただいたご意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子ども会や老人会の活動が心配。</li> <li>コロナ禍のイベント中止。</li> <li>町会脱退者の増加。</li> </ul>

分類	地域の良い変化(強み)	地域の悪い変化(弱み)
場所(施設)	<p>&lt;2022 年度に回答いただいたご意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中村公会堂が新しくなったこと。</li> </ul>	<p>&lt;2021 年度に回答いただいたご意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子育て施設がまったく増えず、学童も縮小。保健センター等も遠く、保育所に入れない子が多いまま。</li> <li>・ 子どもが多くなったが、ボール遊びできるような広々とした居場所がない。</li> </ul> <p>&lt;2022 年度に回答いただいたご意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 風水害等避難場所に不安を感じたこと。</li> </ul>
まち・交通	<p>&lt;2021 年度に回答いただいたご意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相原駅周辺の道路整備。</li> <li>・ 駅前の広場が素敵になった。</li> <li>・ 大戸踏切の立体化計画、JR相原駅東口への道路の拡幅計画など社会インフラの充実。</li> <li>・ 相原駅に活気が出てきた。</li> <li>・ 中央公園整備。</li> <li>・ 2連バスの運行。</li> </ul> <p>&lt;2022 年度に回答いただいたご意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ カフェなど新しいお店ができたこと。</li> <li>・ バスロータリーを始めとする駅前整備。</li> <li>・ 連結バスが通ったこと。</li> <li>・ 相原駅のロータリーが整備された。</li> </ul>	<p>&lt;2021 年度に回答いただいたご意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナ禍ということもあるが、町に活気がない、人が少ない。</li> <li>・ コンビニ、パン屋、スーパー等の店舗が減った。</li> <li>・ 小売店やファミレスが閉店。</li> <li>・ 町田街道渋滞。</li> <li>・ 東口駅周辺の整備(遅延)。</li> <li>・ 大戸踏切交通渋滞悪化。</li> <li>・ 緑が減って車も増えた、バスの本数が減った。</li> </ul> <p>&lt;2022 年度に回答いただいたご意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農地が減っていること。</li> <li>・ ファミレスがなくなった。町田街道の渋滞が増えた。</li> <li>・ 大学が止まるとバスが少なくなること。</li> <li>・ カフェを始め、人が集まる場所が全くない。</li> <li>・ 踏切のアンダーパス下が進まない。</li> <li>・ 駅前の再開発が進まない。</li> <li>・ 駅前の商店等が立ち退き、街の経済循環を失わせた。</li> <li>・ 私道に草木が生い茂る。</li> </ul>
その他	<p>&lt;2021 年度に回答いただいたご意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 足の不自由な祖母のところで訪問医療が利用できる。</li> </ul> <p>&lt;2022 年度に回答いただいたご意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゆくの木学園の良さが広く知られるようになった。</li> <li>・ 地区の医師の意識が高く、地域に根ざした医療を提供している。</li> </ul>	<p>&lt;2021 年度に回答いただいたご意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナ感染により、暗い日常生活</li> <li>・ 高齢者に無関心な者が増えている</li> </ul> <p>&lt;2022 年度に回答いただいたご意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 熱中症が心配なのに、子どもたちがマスクを取らないこと。</li> <li>・ 香り付きの洗剤の匂いがキツク感じること。</li> <li>・ 誰かが、燃やしてはいけないものを敷地内で燃やしているのを煙の匂いで感じる事。</li> <li>・ 子どもの権利に関わる施策が手薄。</li> <li>・ 若い世代の雇用創出まではまだまだ至っていない。</li> <li>・ 外国人が増え、窃盗事件などを身近で目撃した事。</li> <li>・ ゆくの木学園が廃校対象になったこと。</li> </ul>